

記者向け説明会

# 医療機関におけるAI活用および DXの直近の取り組みについて

2025年11月19日  
富士通 Japan 株式会社



90  
th  
Anniversary

# 式次第

11:00

## ご挨拶

富士通Japan株式会社 代表取締役社長 長堀 泉（ながほり いずみ）

## デジタルホスピタルの実現に向けて

富士通Japan株式会社 ヘルスケア事業本部長 桑原 裕哉（くわはら ひろや）

## 診療領域におけるAIを活用した業務革新について

富士通Japan株式会社 ヘルスケア事業本部

第二ヘルスケアソリューション事業部長 大西 享（おおにし とおる）

## 退院サマリ作成支援サービスによる医療DX

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

医療情報管理部長 整形外科医長 佐藤 智太郎（さとう ともたろう）先生

11:35

## QAセッション

11:57

## フォトセッション

# ご挨拶

富士通Japan株式会社  
代表取締役社長

長堀 泉



# Our Purpose

わたしたちのパーザスは、  
イノベーションによって社会に  
信頼をもたらし、世界をより  
持続可能にしていくことです。

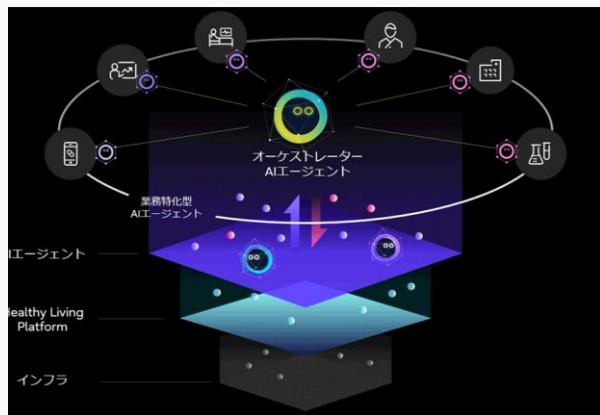


# 2025年度 ヘルスケアの取り組み

2025年8月27日

## ヘルスケア特化型AIエージェント

医療機関の経営効率化と安定的な医療サービスの提供に向け、ヘルスケアに特化したAIエージェントの実行基盤を構築



2025年9月17日

## ヘルスケア領域で日本IBMと協業

富士通と日本IBM、テクノロジーを活用した共創を通じたより良い社会の実現を目指して協業検討を開始



2025年10月28日

## AIによる病院経営支援の実証実験

長崎県壱岐市の地域医療を担う玄州会様において、持続可能な病院経営をAIにより支援する実証プロジェクトを実施



地域に根差す医療の課題を  
デジタル技術によって解決したい



# デジタルホスピタルの実現に向けて

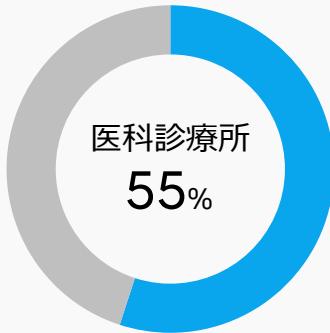
富士通Japan株式会社  
ヘルスケア事業本部長

桑原 裕哉



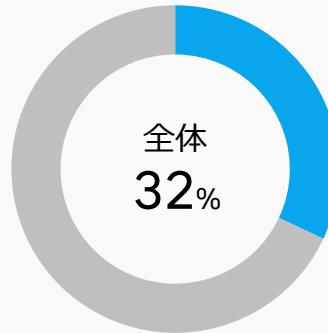
# 日本における医療ITの現在地

電子カルテ導入率



出所：2023年医療施設調査

富士通のシェア

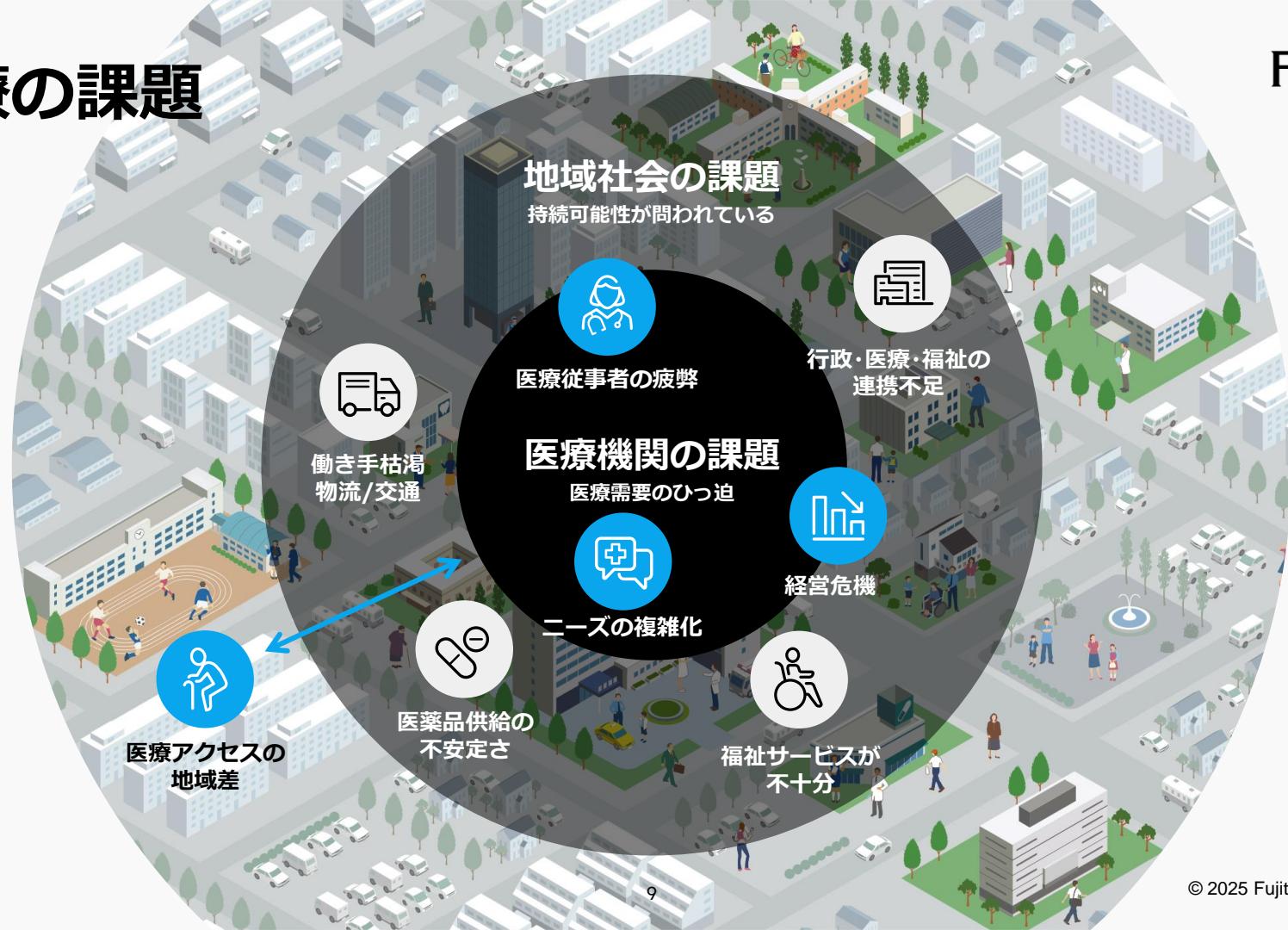


出所：月刊新医療データブック・シリーズ「医療機器システム白書2024」  
(非公開ユーザ含む)

電子カルテの市場規模 約3,000億円

出所：矢野経済研究所 医療情報システム市場に関する調査（2025年版）

# 医療の課題



# 私たちの強み

50年にわたる  
医療分野のナレッジ



現場のリアルを知る  
豊富なヘルスケアナレッジ

イノベーションを創出する  
テクノロジー



AIなどの次世代技術

クロスインダストリーで取り組む  
社会課題の解決



社会全体を網羅する  
ノウハウ

電子カルテのその先へ

医療機関のパートナーとして  
日本の医療を持続可能に



ヘルスケアビジョン

# Healthcare Transformation

これまでのデータを これからのために

# 人を起点に、データとテクノロジーをつなぐ



## 高度な診療支援

AIによる  
医療従事者の意思決定支援

## 診療格差の是正

どこでも  
変わらない医療

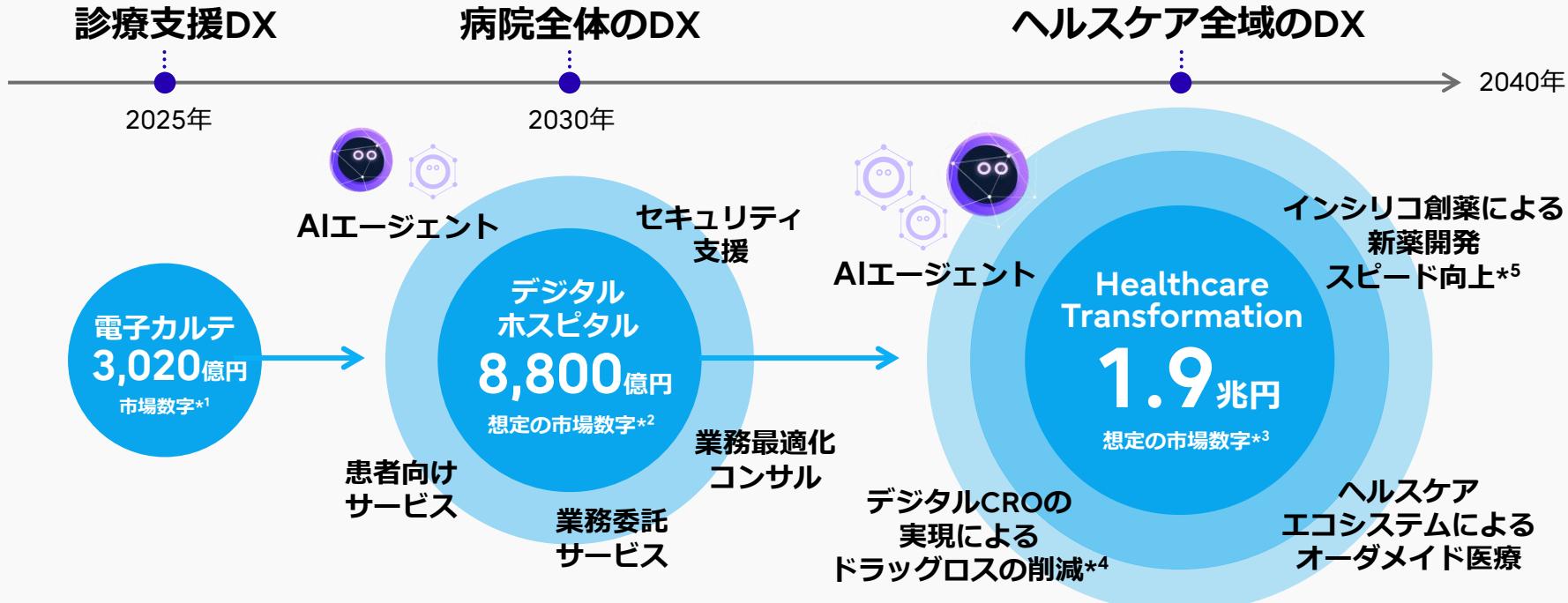
## 持続可能な病院経営

データドリブンな分析  
人・モノの最適化

## ドラッグロス解消

希少疾患への  
最新治療・医薬品提供

# デジタルで医療機関の在り方を変える

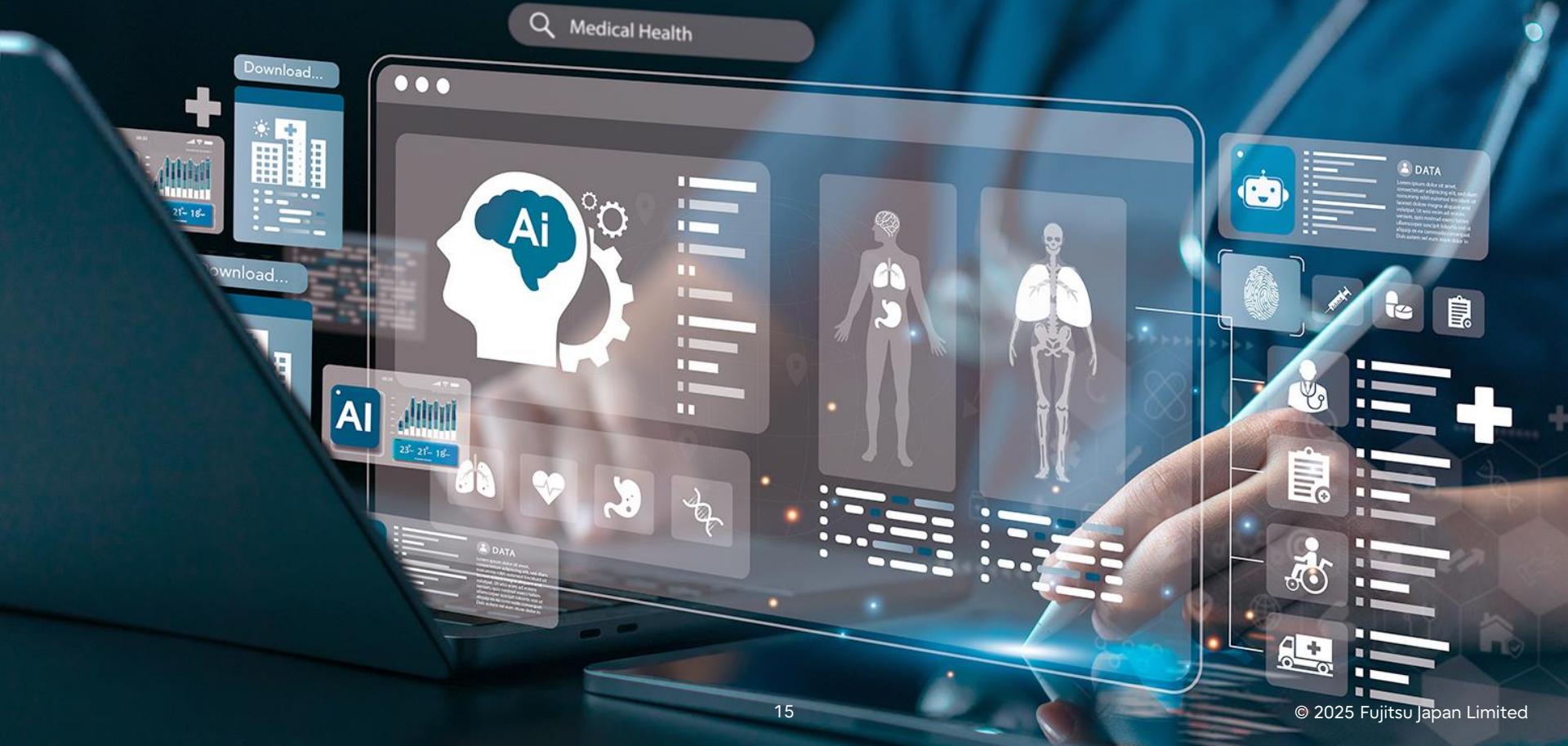


\*1 : 矢野経済研究所  
医療情報システム市場に関する調査（2025年版）

\*2 : DATA BRIDGE2025  
<https://www.databridgemarketresearch.com/nucleus/japan-smart-hospital-market>

\*3 : <https://www.grandviewresearch.com/horizon/outlook/smart-healthcare-market/japan>  
\*4 : 治験業務をデジタル技術で効率化。プロトコル設計からデータ収集・解析までを最適化  
\*5 : コンピュータシミュレーションやAIを活用したデジタル空間での創薬技術

# 変革を推進する鍵は「AI」



# 診療領域における AIを活用した業務革新について

富士通Japan株式会社  
ヘルスケア事業本部  
第二ヘルスケアソリューション事業部長  
大西 享



# AI活用による業務最適化を実現

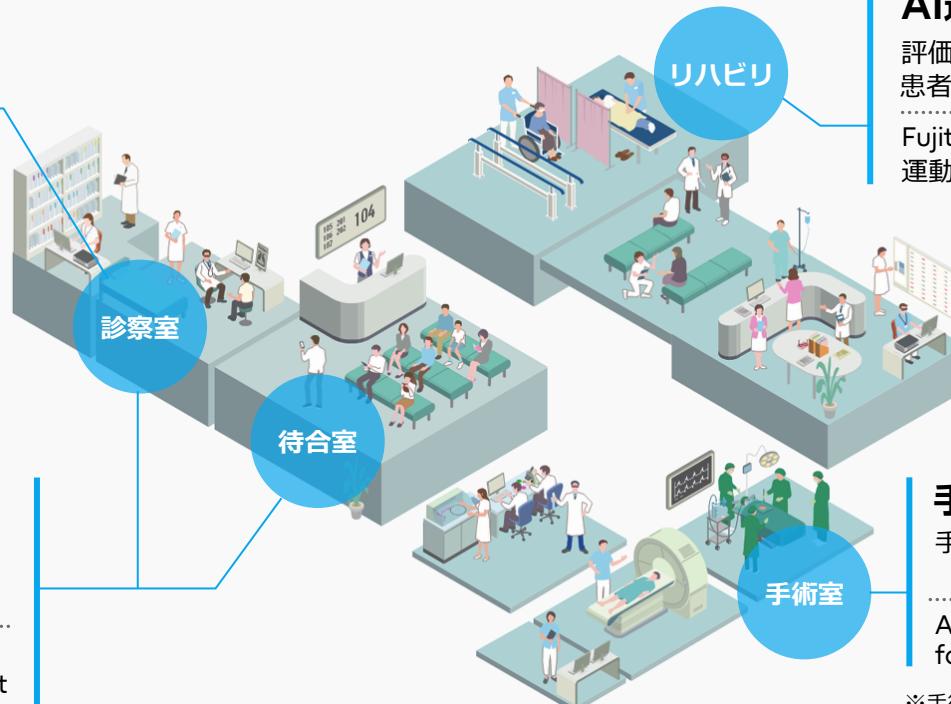
## 看護配置の最適化

調整業務時間

**6.6** 時間／月 削減

HOPE LifeMark-看護配置  
マネジメントサービス

※看護師長の1カ月あたりの業務量の比較  
(病棟間の応援調整、病棟内の勤務調整、  
ベッドコントロールなど)



## AI問診

問診確認～カルテ記載業務時間

患者一人あたり **40** %削減

HOPE 今日の問診票  
with Current Decision Support

上記削減効果数値については、富士通Japanユーザにおける実績または試算結果であり、効果を保証するものではありません

## AI運動能力評価

評価対応時間

患者一人あたり **88** %削減

Fujitsuウェルネス  
運動支援サービス

## 手術関連リソース最適化

手術調整業務

最大 **40** %削減

Assignment Master  
for 手術スケジューラー

※手術調整担当者の1カ月あたりの業務量の比較  
※AIではなく富士通独自のリソース最適化エンジンを使用

# デジタルホスピタルを牽引するAIサービス

## 医療・経営の判断を支援

### データ分析AI

経営・医療提供状態を可視化し、課題を踏まえた対策プランの提案

2026年度 提供予定

## 医療従事者の業務を支援

### 医療文書作成AI

退院サマリや看護サマリなどの効率的なドキュメント作成を支援

2025年度4月から順次提供開始

### 業務支援AI

診察業務等の会話を用いたカルテ下書き作成などの業務支援

2026年度 提供予定

## 患者サービスの向上

### 対話支援AI

診療予約や問診、Q&Aチャットボットなどの対患者業務に対するエージェント型業務支援

2026年度 提供予定

### 最適化AI

ベットコントロールや手術・検査スケジュールの最適化による経営資源の最適化を支援

2026年度 提供予定

### 医療安全AI

重症化の兆候やガイドラインからの逸脱を検知しアラート通知することで、医療安全維持を支援

2027年度以降 提供予定

## 利便性と安全性の両立

2026年度 提供予定

### 汎用AI 汎用AIインターフェース

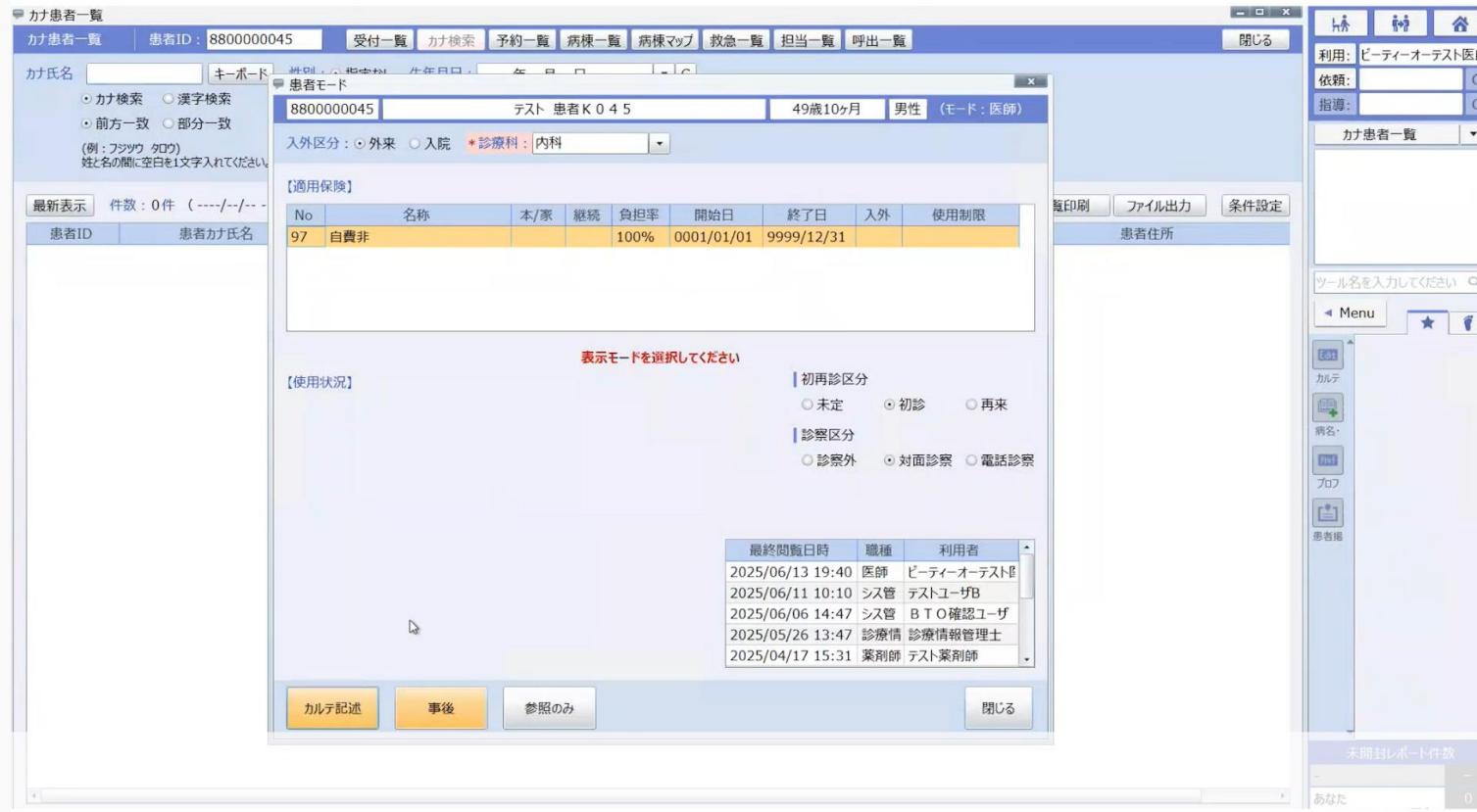
### AIデータアクセス データアクセスインターフェース

## データの構造化

2025年4月から提供開始

### データ構造化AI 電子カルテに蓄積される非構造化データを逐次構造化

# (ご参考動画) 音声×電子カルテ



# AI活用の重点領域と共創事例

## 1. 経営支援



ウェルビーイング社会の  
実現に向けた戦略提携

 東北大学病院  
Academic Science Unitとの共創  
2022年9月26日包括協定締結

## 2. 働き方改革



退院サマリ 実証ユーザ

 獨協医科大学病院  
2025年5月20日～運用開始  
 国立病院機構  
名古屋医療センター  
2025年10月30日～運用開始  
 中部国際医療センター  
2026年1月～運用開始

## 3. 新しい患者体験



MaaSによる患者の通院支援

 COMmmons  
by MLIT

プロジェクト実施主体  
国土交通省  
地域交通DX推進プロジェクト  
2025年11月4日 実証実験開始（徳島県）

※国土交通省から委託を受け、実証に必要なシステム連携機能の開発及び実証を富士通が実施



# 1 | 経営支援

# 持続可能な医療体制の実現に向けて

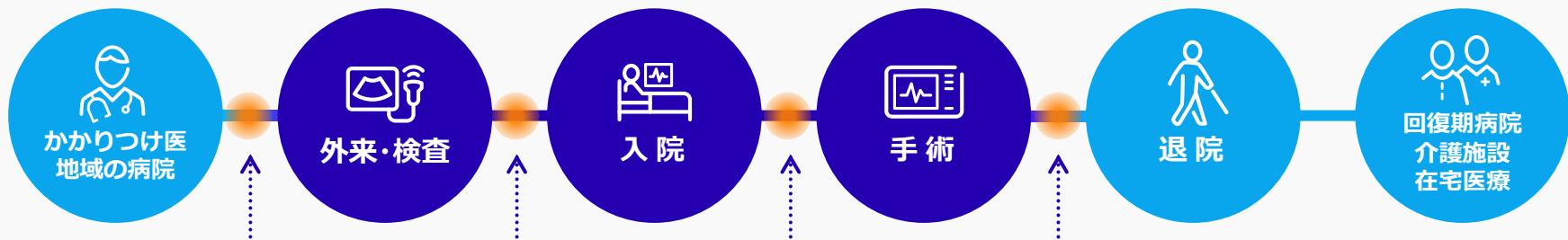
急性期病院の経営を患者フローの最適化により支援

稼働率の低下

入院や手術への待機

業務負荷の高まり

通院負担の増加



入院前から退院後までの患者フローをデータでつなぎ、AIで最適化

HealthCare Management Platform



収益の最大化

早期治療の実現

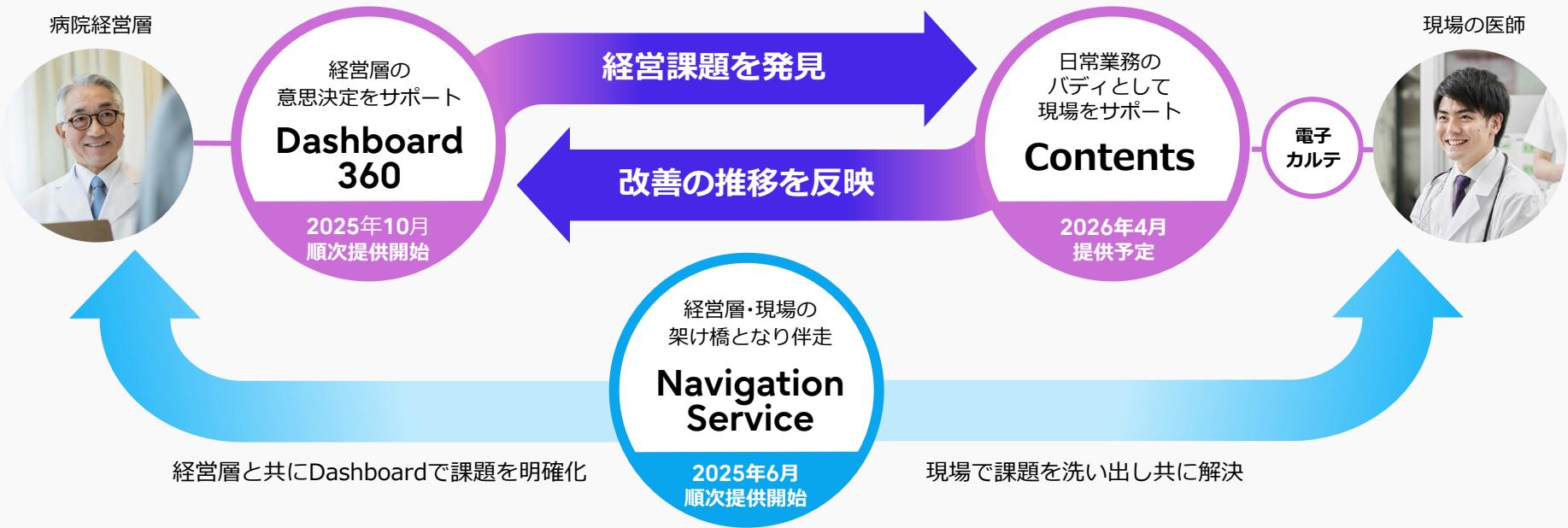
医療従事者の働き方改善

患者の利便性向上

# 経営層と現場をつなぎ経営を改善する取り組み

## HealthCare Management Platform

病院経営層



経営層と共にDashboardで課題を明確化

現場で課題を洗い出し共に解決

経営意思の伝達・運用改善

# AIを活用しベットコントロールを最適化

AIによって最適な在院日数を導き出し、医療の質と病床稼働率の向上を支援

- AIが検査結果や薬剤の投与量、術式、バイタルなどから、患者ごとの治療経過を踏まえた退院目安をお知らせ
- 計画的な退院先の調整や、多職種から患者へ退院前の薬剤管理方法や栄養指導を促す

2026年度  
提供予定



## 入院患者の退院目安を予測

必要なケアを漏れなくチーム医療で計画的に推進



## 急変の予兆を検知

患者状態をスコアリングし、早期介入で重症化を防止



## 病棟の繁忙度も加味

病棟の受け入れ負担もスコアリングし、最短で受け入れ病床を決定





## 2 | 働き方改革

# AIへのタスクシフト

## 医療文章作成支援サービス（退院サマリ）

The screenshot illustrates the workflow for generating a discharge summary (出院サマリ) using AI. It shows three main stages:

- ① 参照データ自動収集 (Data Collection):** A dialog box displays the patient's information (性別: 女性, 年齢: \*\*歳, 身長: \*\*cm, 体重: \*\*kg, 血型: Rh(\*)) and clinical context (外来・内科, 自費率(100%)).
- ② 下書きを自動生成 (Draft Generation):** A large central window shows a draft of the discharge summary. The draft includes a detailed history of the patient's condition, treatment, and laboratory results, such as "COPD再燃による症状悪化、IVIG導入目的で入院" (Worsening of symptoms due to COPD recurrence, admission for IVIG treatment) and "HbA1c: 6.7%".
- ③ カルテに反映 (Reflect in Medical Record):** A smaller window titled "カルテデータ (主訴または入院理由)" (Medical Record Data (Chief Complaint or Admission Reason)) shows the reflected information.

## 実証結果に基づく導入効果の検証

### 1患者あたりの サマリ作成時間

**71.2%削減**

(約28分 → 8分\*1に短縮)

### 年間のコスト削減試算

**約5,000万円**

(年間退院サマリ作成数16,416件\*1  
時給10,000円\*2より算出)

\*1：国立病院機構名古屋医療センター様における  
実証データ（2025年2月）

\*2：一般的な医師の想定時給

国立病院機構 名古屋医療センター  
佐藤 智太郎 先生

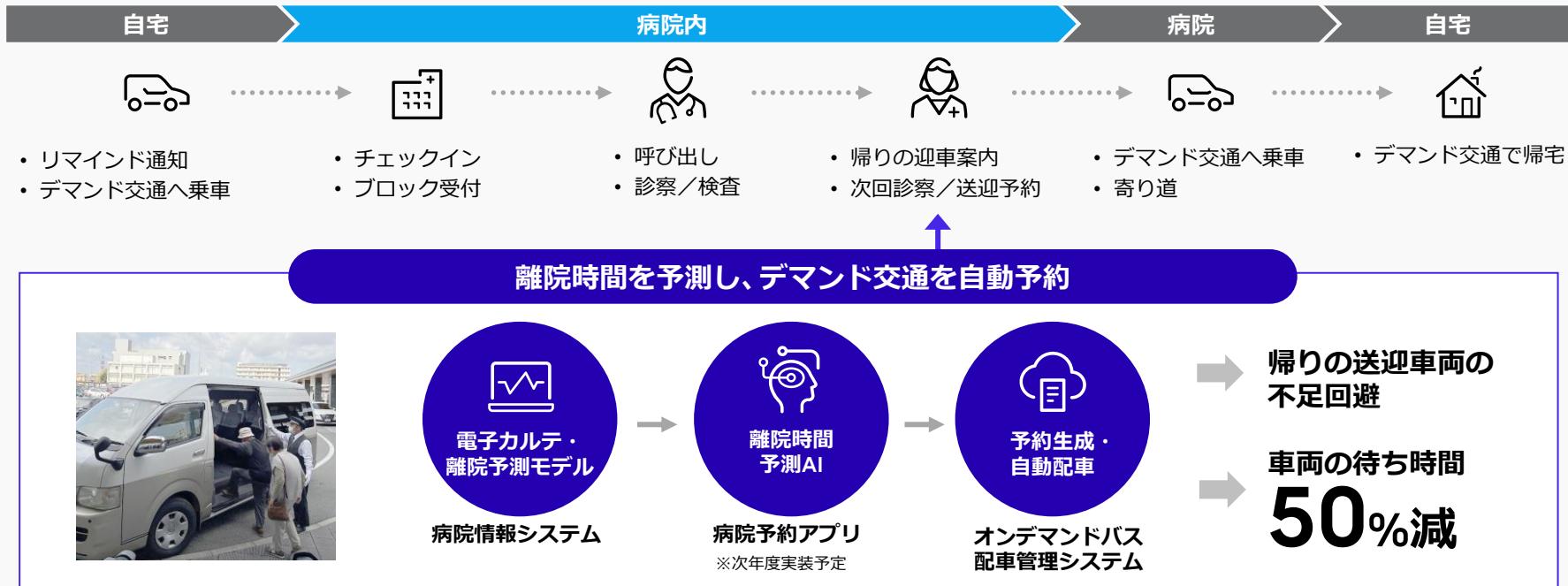




## 3 | 新しい患者体験

# ヘルスケアMaaSで変わる通院

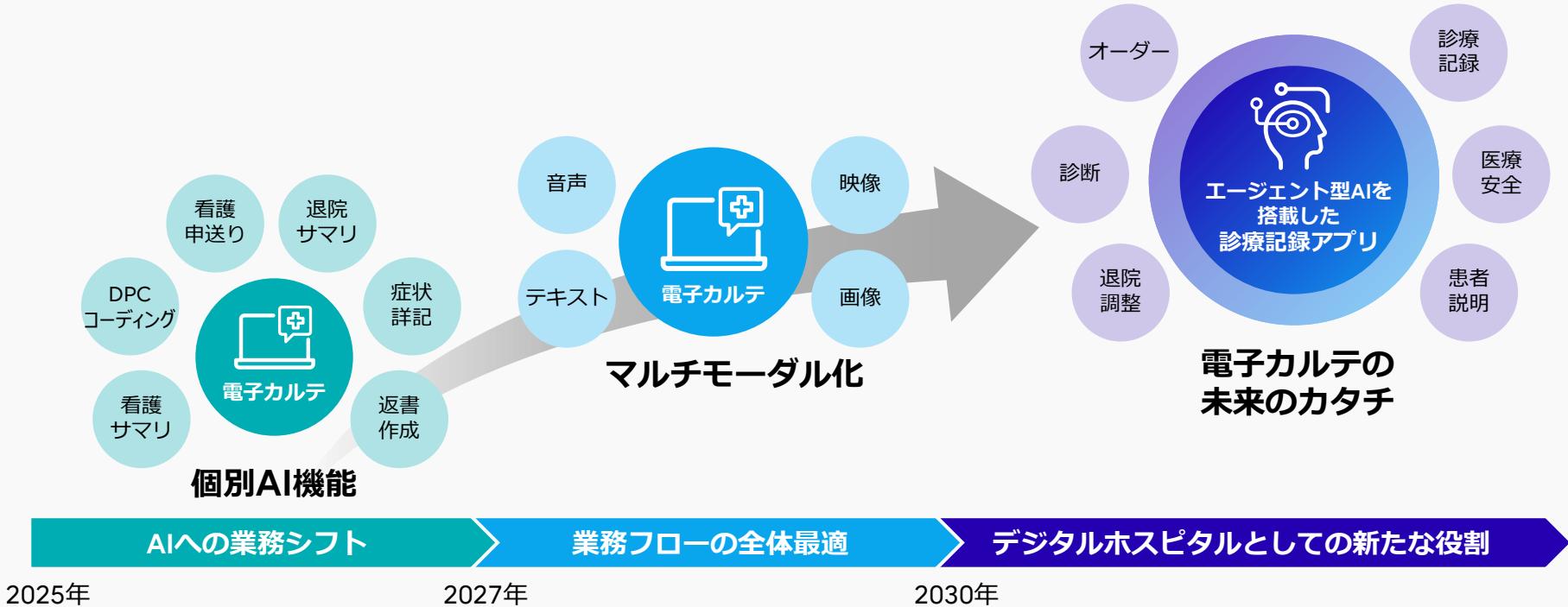
電子カルテと乗合型送迎車両（デマンドバス）配車システムとの連携により病院へのアクセス向上と送迎待ち時間解消を目指し、徳島県にて実証実験（国土交通省：ヘルスケアMaaS社会実証プロジェクト）実施中。



# AIと電子カルテの未来

# 電子カルテからデジタルホスピタル実現へ

社会課題解決を担う医療機関のパートナーへ



A medical photograph showing a doctor in a white coat and mask examining a smiling baby. The baby is being held by a woman in a white blouse. The background is bright and clinical.

**富士通は これからも  
持続可能な医療提供体制の構築を  
支援していきます**

# Thank you

